

都道府県別賞一等

シングルマザーの愛情

宮城県 気仙沼市立階上中学校 三学年

大友 歩夢

「二人はみんなのために、みんなは一人のために」という言葉は、私たちの家族にとって非常に深い意味を持っています。私はシングルマザーである母と弟二人の四人で一緒に生活していますが、母はある私立高校に通いたい私を支えるために毎日のように一生懸命働いてくれています。この母の愛情とサポートは、私が毎月安心して学校生活をおくるために欠かせないものです。

しかし、母や家族がいつも健康で働いたり、生活できるわけではありません。もしも、事故にあって障がい状態になったら……もしも、入院生活になって働けなくなったら……私たちのあたりまえだと思っている生活がおくれなくなる可能性があります。治療費がかさみ、国からの保障ではこれまでの生活や夢を叶えることができなくなってしまいかもしれません。そんなときに、私たち家族の未来を自分の努力で守るために役立つのが生命保険です。

生命保険に加入することで、万が一の事態が発生しても、私たちの経済的な不安を軽減することができます。家族に何かがあった場合でも、生命保険は医療費や生活費の負担を軽くしてくれる。そんな生命保険を知る前までは、難しく中学生の私には全く関係ないものだと思っていました。しかし、この作文を書くことをきっかけに私は生命保険により安心して学業に専念することができているんだと実感しました。

また、生命保険は将来に対する備えでもあるようです。もしも、母が亡くなった場合、生命保険から保険金などが支給され、私の進学や将来の夢を守る助けとなります。母の愛情と努力が私の夢を支えてくれているからこそ、母の期待に応えるために私も自分事として生命保険を考えるべきだと感じました。

「二人はみんなのために、みんなは一人のために」という精神は、私たち親子の関係にも当てはまります。私の夢や成長は、母の努力と愛情があっこそ成り立っています。そのため、家族の絆や未来を守るためにも、生命保険に加入することは非常に重要な選択です。

母が一人で私たち家族のために頑張ってくれているからこそ、私たちは家族として互いを支え合い、未来を見据えて行動していきたいと思えます。経済的な不安や夢を諦めざるを得ない状況になったとしても生命保険に加入し、日常から備えることがとても価値のあるものだということがわかりました。